

仮想アース Crystal E の導入(4) (HP 収載)

—Garad401 再生系(1)—

1. 始めに

前報(3)に引き続き、仮想アース Crystal E の導入について検討していきます。

2. Crystal E の試聴方法

アナログ再生系としては Garad401 を選択します。

Garad401→47 研 4718→TruPhase

カートリッジは ZYX R100-EX、シェルは Ortofon、アームは FR64S、フォノステージは 47 研 4718 への入力です。

Garad401 再生系でアースを必要とするのは下記です。

Garad401

47 研 4718

上記を従来のタコ足配線の RE-9 から切り離し、Crystal E にアース線を繋ぎ替えます。

音源は下記を使用します。

ドイツグラモフォン MG8333/4

ニコロ・パガニーニ 24 の奇想曲

サルヴァトーレ・アッカード (Vn)

ドイツグラモフォン MG9551

ベートーベン 三つのピアノソナタ (選帝侯のソナタ)

ゲザ・アンダ (ピアノ)

LONDON KLJC-9180/9184 (RTI/キングレコード)

リヒャルト・ワーグナー ワルキューレ全曲

ゲオルグ・ショルティ指揮ウイーンフィル

3. Crystal E の試聴結果

まず、現状のアースの状態で聴いておき、ついで Crystal E の効果を聴いていきます。

Garad401 と 47 研 4718 のアースに Crystal E を繋ぎますと、24 の奇想曲では、弦のきつさがとれ、ボウイングのニュアンスが分かりやすくなります。

選帝侯のソナタでは、打鍵の音の滲みがへり、ピアノの音がクリアーになり、演奏のニュアンスが把握しやすくなります。

ワルキューレでは、オーケストラの解像度が上がり、楽器の質感や歌手の声の質感も向上し、歌手や楽器の相対的な位置関係が明瞭になってステージ感が向上します。

以上の知見の他、このシステムには残留ノイズらしいノイズがありましたが、全般的に背景が静かになりました。

4. まとめ

Garad401の再生系においてGarad401と47研4718のアースにCrystal Eを繋ぐ効果を認めました。

以上